

全国学力・学習状況調査の結果について

【学力調査】

国語の平均正答率は、知識及び技能・思考力、判断力、表現力ともに全国平均をやや下回っているが、言語文化に関する事項は若干上回っている。

数学の平均正答率は、全国平均をやや下回り、学習指導要領の「数と式」「関数」領域が特に苦手である。

【学習状況調査質問紙】

生活（値の高い結果項目）

※値の高低はすべて県・全国との比較

- ・朝食を毎日食べていますか。
- ・新聞を読んでいますか。
- ・友達関係に満足していますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれぐらいありますか。

生活（値の低い結果項目）

- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

学習（値の高い結果項目）

- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- ・国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか。
- ・国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか。
- ・国語の勉強は好きですか。
- ・数学の勉強は好きですか。

学習（値の低い結果項目）

- ・国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか。
- ・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。
- ・数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。
- ・自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか。

【課題と対策】

- ①国語においては自分の考えをことばで表現することが苦手な生徒が多く、資料の読み取りも難しいため、「資料を用いて自分の考えが分かりやすく伝わるように話せる」ことをめざして、グラフなどの様々な資料を読み取る練習をする。
- ②数学においては基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、課題プリントの内容を精選し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。また、ICTを活用し関数や図形の単元でグラフや図をできるだけ視覚化し、問題の内容を掴みやすいように支援する。
- ②全体的に素直・従順であるが、生活・学習面において意欲的な取組がやや不十分である。

【今後の具体的な取組】

- ①学習活動の中で、個別に関わったり言葉を交わしたりする機会を意欲的に取り入れ、信頼できる関係や安心感のある集団をつくる。
- ②アクティブラーニング等、生徒の主体的な活動を授業に多く取り入れることや、生徒の頑張りを褒めることで、自分の意見や考えに自信が持てるようにする。
- ③家庭と協力して学習環境を整え、学校生活と家庭学習につながりをもたせる。